

講義名	公共経済学 (Public Economics)			開講時期	5 学期	毎週金曜日	1-2 限(9:00-10:30)	単位数	2-0-0	M111 講義室																																													
担当教官	福田 大輔 准教授(緑が丘 5 号館 2 階 203 号室 内線 2577) 山内 弘隆 一橋大学教授(非常勤) 根本 敏則 一橋大学教授(非常勤) 味水 佑毅 高崎経済大学准教授(非常勤)																																																						
関連する 学習教育目標	A: 土木工学のみならず, 自然科学, 人文科学, 社会科学など, 幅広い学識を身につけ, 技術者としての教養を修得する. E: 大学院との密な連携のもとに, 大学院において学ぶために必要なより高度な知識や技術を修得する.																																																						
講義の目的	1. 費用や価格等のミクロ経済理論, 2. プロジェクトの経済評価手法, 3. 公共事業のマクロ経済効果分析, 4. 公共サービスの特徴とその財源・料金制度, 5. ロジスティクスの進展や PFI への取り組み等, 社会資本整備を取り巻く経済学的な基本的考え方を習得する.																																																						
講義計画	<table><tr><td>1. 土木事業・公共事業・公共投資の評価における経済分析の役割</td><td>(4 月 12 日, 福田)</td><td></td></tr><tr><td>2. 消費者行動理論の基礎</td><td>(4 月 19 日, 福田)</td><td></td></tr><tr><td>3. 生産者行動理論の基礎</td><td>(4 月 26 日, 福田)</td><td></td></tr><tr><td>4. 市場の理論</td><td>(4 月 30 日[火曜日], 福田)</td><td></td></tr><tr><td>5. 市場の失敗とその是正</td><td>(5 月 10 日, 福田)</td><td></td></tr><tr><td>6. 公共事業のミクロ経済学的評価: 費用・便益分析</td><td>(5 月 15 日[水曜日], 福田)</td><td></td></tr><tr><td>7. 公共投資のマクロ経済への影響</td><td>(5 月 24 日, 福田)</td><td></td></tr><tr><td>8. 中間試験</td><td>(5 月 31 日)</td><td></td></tr><tr><td>9. 交通サービスの特徴と規制の実際</td><td>(6 月 7 日, 味水)</td><td></td></tr><tr><td>10. 交通サービスの整備財源とその評価</td><td>(6 月 14 日, 味水)</td><td>※6 月 21 日は休講</td></tr><tr><td>11. 交通サービスにおける運賃政策の理論と評価</td><td>(6 月 28 日, 味水)</td><td>※7 月 5 日は休講</td></tr><tr><td>12. インフラストラクチャーの現状と今後の展望</td><td>(7 月 12 日, 山内)</td><td></td></tr><tr><td>13. PFI 事業のコンセプトと概要</td><td>(7 月 19 日, 山内)</td><td></td></tr><tr><td>14. 安全・安心なロジスティクス・ネットワーク</td><td>(7 月 26 日, 根本)</td><td>9:00-10:30</td></tr><tr><td>15. アジアにおけるサプライチェーンとインターモーダル輸送</td><td>(7 月 26 日, 根本)</td><td>10:45-12:15 ※講義時間注意</td></tr></table>										1. 土木事業・公共事業・公共投資の評価における経済分析の役割	(4 月 12 日, 福田)		2. 消費者行動理論の基礎	(4 月 19 日, 福田)		3. 生産者行動理論の基礎	(4 月 26 日, 福田)		4. 市場の理論	(4 月 30 日[火曜日], 福田)		5. 市場の失敗とその是正	(5 月 10 日, 福田)		6. 公共事業のミクロ経済学的評価: 費用・便益分析	(5 月 15 日[水曜日], 福田)		7. 公共投資のマクロ経済への影響	(5 月 24 日, 福田)		8. 中間試験	(5 月 31 日)		9. 交通サービスの特徴と規制の実際	(6 月 7 日, 味水)		10. 交通サービスの整備財源とその評価	(6 月 14 日, 味水)	※6 月 21 日は休講	11. 交通サービスにおける運賃政策の理論と評価	(6 月 28 日, 味水)	※7 月 5 日は休講	12. インフラストラクチャーの現状と今後の展望	(7 月 12 日, 山内)		13. PFI 事業のコンセプトと概要	(7 月 19 日, 山内)		14. 安全・安心なロジスティクス・ネットワーク	(7 月 26 日, 根本)	9:00-10:30	15. アジアにおけるサプライチェーンとインターモーダル輸送	(7 月 26 日, 根本)	10:45-12:15 ※講義時間注意
1. 土木事業・公共事業・公共投資の評価における経済分析の役割	(4 月 12 日, 福田)																																																						
2. 消費者行動理論の基礎	(4 月 19 日, 福田)																																																						
3. 生産者行動理論の基礎	(4 月 26 日, 福田)																																																						
4. 市場の理論	(4 月 30 日[火曜日], 福田)																																																						
5. 市場の失敗とその是正	(5 月 10 日, 福田)																																																						
6. 公共事業のミクロ経済学的評価: 費用・便益分析	(5 月 15 日[水曜日], 福田)																																																						
7. 公共投資のマクロ経済への影響	(5 月 24 日, 福田)																																																						
8. 中間試験	(5 月 31 日)																																																						
9. 交通サービスの特徴と規制の実際	(6 月 7 日, 味水)																																																						
10. 交通サービスの整備財源とその評価	(6 月 14 日, 味水)	※6 月 21 日は休講																																																					
11. 交通サービスにおける運賃政策の理論と評価	(6 月 28 日, 味水)	※7 月 5 日は休講																																																					
12. インフラストラクチャーの現状と今後の展望	(7 月 12 日, 山内)																																																						
13. PFI 事業のコンセプトと概要	(7 月 19 日, 山内)																																																						
14. 安全・安心なロジスティクス・ネットワーク	(7 月 26 日, 根本)	9:00-10:30																																																					
15. アジアにおけるサプライチェーンとインターモーダル輸送	(7 月 26 日, 根本)	10:45-12:15 ※講義時間注意																																																					
成績評価	中間試験(35%), 期末試験(40%), レポート課題・小テスト(15%), 出席(10%)																																																						
講義資料	基本的に講義時に配布するが, 事前に WEB に掲載して各自で印刷・持参することを指示する場合もある. 資料は全て OCW-i に掲載予定.																																																						
教科書・参考書	(参) 竹内健蔵(2008)交通経済学入門, 有斐閣ブックス. (参) 山内弘隆・竹内健蔵(2002)交通経済学, 有斐閣アルマ. (参) 八田達夫(2009)ミクロ経済学 I・II, 東洋経済新報社. (参) 藤井聡(2010)公共事業が日本を救う, 文春新書. (参) 西村和雄(2006)ミクロ経済学, 東洋経済新報社. (参) クルーグマン・ウェルス(2009)クルーグマンマクロ経済学, 東洋経済新報社.																																																						
履修の条件	「土木計画の理論と数理」の単位を取得していることが望ましい. また, 「交通システム工学」の講義も並行して履修することが望ましい.																																																						
担当教官から一言	経済学と土木工学の関連性, 及び, 土木事業に関連する諸政策を経済学的に分析・評価することの有用性を理解してもらいたい.																																																						
連絡先	E-mail: fukuda@plan.cv.titech.ac.jp (質問は随時 Email で受け付ける.)																																																						